



青果物輸出産地セミナー & マッチング in 鹿児島 2023

海外展開への取組み

～いもの力でにっぽんを元気に～

株式会社 海連

01 会社紹介

02 阿久根工場

03 海連の取り組み

04 輸出事業について

05 コンソーシアムの紹介

01

会社紹介



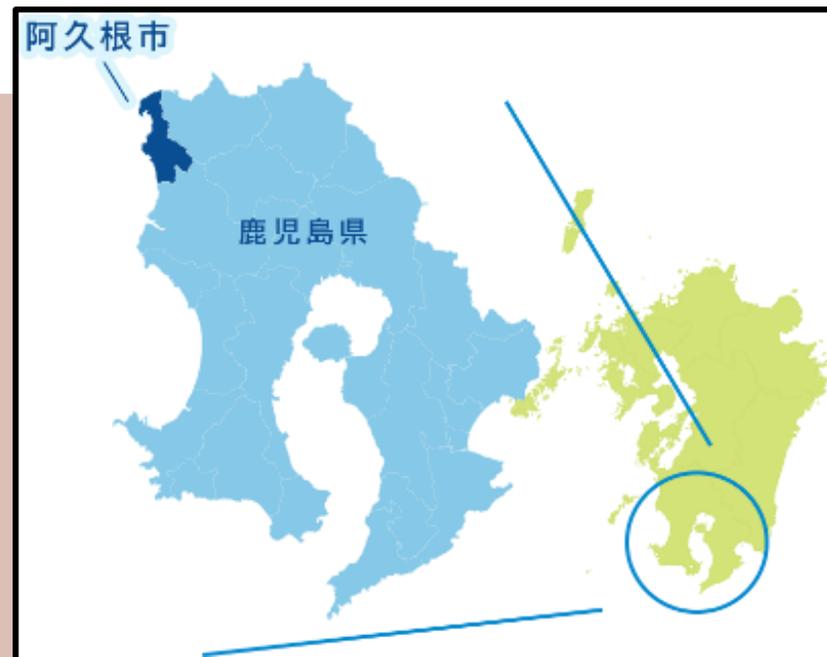
「海連」について

所在地

- 本社：鹿児島県薩摩川内市
- 阿久根工場：鹿児島県阿久根市

事業内容

- 加工業：焼酎用甘藷、干し芋、焼いも、ペースト
- 倉庫業：冷凍・冷蔵倉庫
- 流通・販売：焼酎小売、輸出業、農作物小売
- 農業生産法人：アスパラガス、さつまいも
- 飲食業：そうめん流し大野庵



「海連」社名の由来

「老子」の「上善水の如し」

1. 水は変幻自在である
2. 生きているものを、全て生かす
3. 海は低い位置にあり、全てを受け入れる

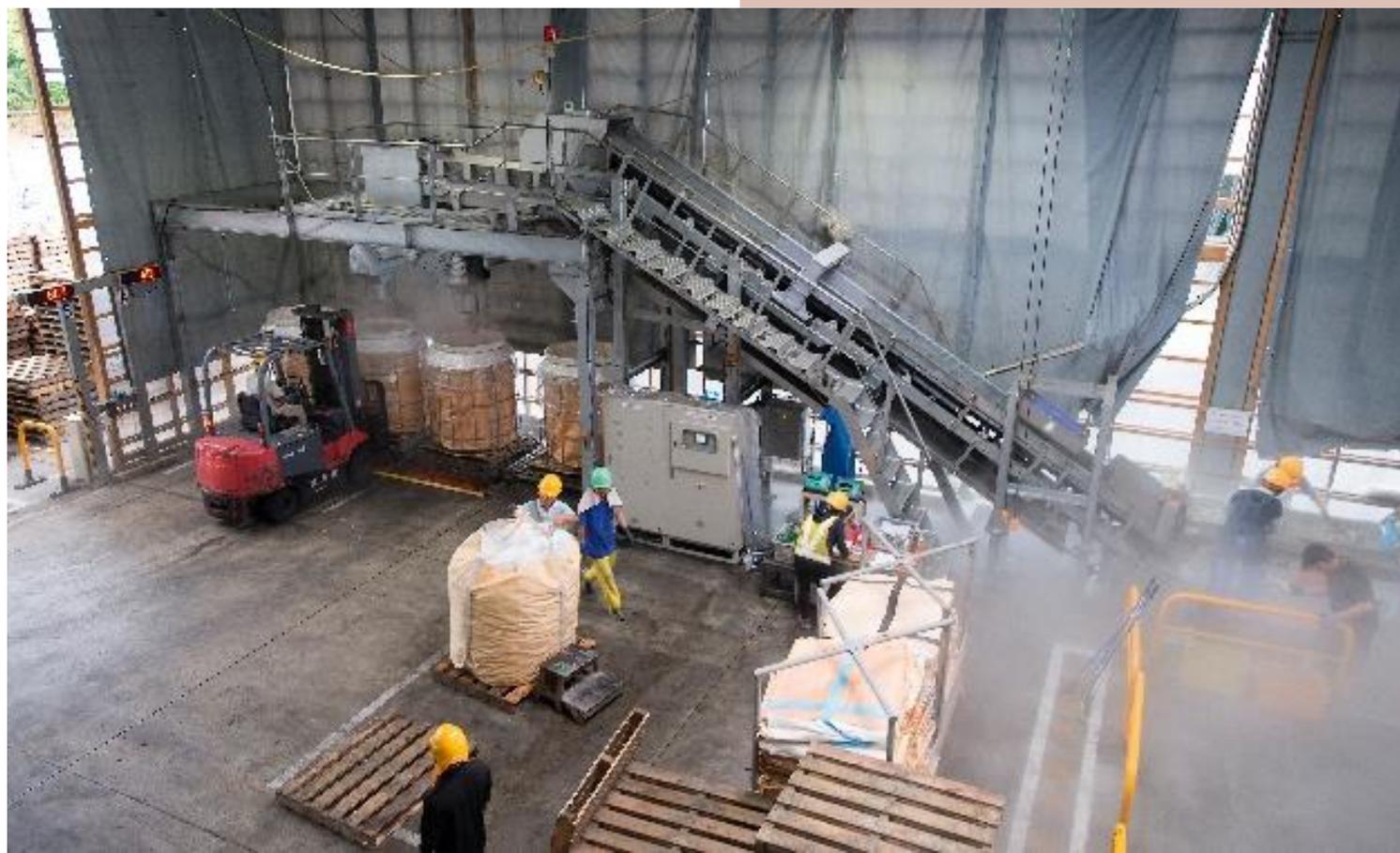
「さつまいもで皆を元気にする」

海連の従業員から阿久根市を
阿久根市から鹿児島県を
鹿児島県から日本を
日本から世界を

元気にする企業を目指す

02

阿久根工場



阿久根工場

生産能力

- 冷凍甘藷加工・急速凍結能力：160t / 日
- 焼いも加工：3t / 日
- 裏ごしペースト加工：1t / 日

保管能力

- 冷凍冷蔵保管能力：
12,000t



03

海連の取り組み



JOKAプロジェクト

概要

➤ 地球の未来・焼酎文化のために、環境に配慮したさつまいも加工を実現するための取り組み

- 次の3点を実施
- ✓ 再生洗浄水の確保
- ✓ 鹿児島産アラゴナイトを活用した排水処理
- ✓ さつまいも洗浄後、汚泥の再資源化



JOKAプロジェクト

海運では、地球の未来と、焼酎文化のために、環境に配慮したさつまいも加工を実現するべく「再生洗浄水の確保」「鹿児島産アラゴナイトを活用した排水処理」「さつまいも洗浄後、汚泥の再資源化」の3つの環境宣言を掲げ、取り組んでいます。

1 Problem

水や土はどこからくる？誰が与える？
もしも、私たちが何も対策を打たなかったら。

食品加工に「水」は必要不可欠です。もちろん、それはさつまいもの加工も同じ。水を洗ったままの工場に置いては、さつまいもを乾燥してはなりません。それは、さつまいも地味の色味も失われてしまいます。私たちが知らなかった！では、さつまいもに大きな責任を担っているのです。

2 Mission

私たち海運が取り組むこと。
未来と焼酎文化のために。

環境にも配慮したさつまいもの加工を実現するために私たちが海運は3つのことに取り組みます。そして、100年後も200年後も、私たちが後継に安心して「おいしい」と言える焼酎造りを支えます。

海運、3つの環境宣言

1

さつまいもの再生洗浄水を確保し循環させる仕組みを構築し、資源の健全に努めます。

2

排水処理後の水のBOD値を測定し、環境負荷低減の対策を常に進めます。

3

土砂・汚泥等の除去を徹底し、資源化することや汚泥の再資源化に取り組みます。

3 Action

鹿児島産アラゴナイトを活用した日本初未来型排水処理システム。

鹿児島で産出される炭化石「アラゴナイト」を活用した排水処理は日本初の実験です。一般的な人工高分子凝集剤で除去した土は地質化に時間がかかり、水はけも悪い土となりますが「アラゴナイト」がもたらした「JOKAプロジェクト」なら、除去した土の地質化速度が早く、水はけもよくなります。

排水処理の流れ

【JOKAプロジェクト】は土砂・汚泥等の除去用剤として導入し、水質浄化と土質改良の両方を実現します。

① 汚濁アラゴナイト投与
排水処理槽にアラゴナイトを投与し、土質改良を行います。

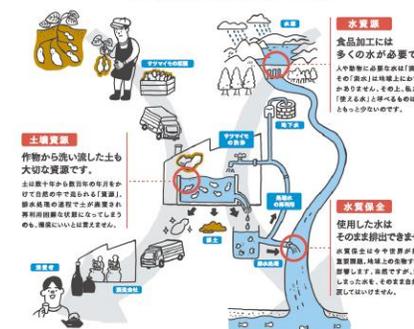
② 沈降分離
汚泥が沈降し、水質が浄化されます。

③ 浮上分離
汚泥が浮上し、水質が浄化されます。

④ 浮上分離
汚泥が浮上し、水質が浄化されます。

⑤ 浮上分離
汚泥が浮上し、水質が浄化されます。

食品加工と環境問題



土壌資源
作物から洗い流した土も大切な資源です。土は数十年前から数百年の年月をかけて形成された貴重な資源です。排水処理で土が汚染され、土壌資源が失われてしまふのは、もったいないです。

水資源
食品加工には多くの水が必要です。大量の水を必要とする食品は、その「水」は地味の上からさがりません。その上、水は「貴重な資源」として扱われ、もったいないです。

水質保全
使用した水はそのまま排出できません。水質保全は今昔問わず重要な課題です。排水処理で水質を浄化し、再利用できるように努めます。

▲ 取り組み説明資料（自社で作成）

汚泥の再資源化の様子

食品残渣と汚泥を利用した堆肥作り



汚泥堆肥を活用したアスパラガスの生産

海連アグリセンター



04

輸出事業について



輸出実績

- アメリカ (NY・LA)
- 香港
- シンガポール



さつまいも加工品

- 焼きいも
- 蒸しペースト
- 蒸しスティック
- 干し芋



05

コンソーシアムの紹介

さつまいもの輸出促進するコンソーシアム

コンソーシアムの目的

1. 日本のさつまいも産業の持続的な発展を支えること
2. 日本産さつまいものブランディング活動
3. 輸出販売を促進し、
同時に販促と生産に関する人材育成を行う

さつまいもの輸出促進するコンソーシアム

参加企業（2023年現在、7社）

- 有限会社南橋商事（鹿屋市）
- 株式会社アグリ・コーポレーション（長崎県五島市）
- 株式会社SAMURAI SUMMIT（長崎県五島市）
- 東シナ海の小さな島ブランド株式会社（薩摩川内市）
- RESOBOX,Inc.（アメリカ合衆国NY州NY）
- 小平株式会社（鹿児島市）
- 株式会社海連（薩摩川内市）

さつまいもの輸出促進するコンソーシアム

今後の取り組み

- 人材育成
- 持続可能な生産体制
- 品質と収穫量の安定化
- 品質とブランド価値を
世界に広める取組の推進



ご清聴ありがとうございました

